

結婚

真白い衣装はさらさらと床を
貴方のときめきの微かな響き
幸福はヴェールの下にはにかむ

誰がこの瞬間を呪うことができよう
最も平凡なこの若い二人の祈りを
つつましやかな魂に涙はこぼれる

オルガンを奏でたまえ、フォーレよ
静かに、暖かく、そして哀しく
この哀しさが私達の幸福

ああ、穏やかな微笑み
むしろこの聖堂の中には、奏く人よ
レクイエムこそこの至福にはふさわしい

あなた方は誰を過去に送るのか
進み出る二人を見送る者の中に
新たなる時に地は広い

涙はこみ上げるたびに頬を伝う
この涙こそ私達の幸福
この哀しさこそあの二人のもの

(1982.5.3)